

ホトケドジョウとナガレホトケドジョウの成長の比較

青山 茂 (神戸生物クラブ・希少野生動植物種保存推進員)

はじめに

ホトケドジョウはコイ目ドジョウ科の淡水魚で、東北から近畿にかけて分布し、湧水を水源とする細流、湿原や水田周りの小溝に生息する。同属のナガレホトケドジョウは近畿、山陽、四国北部に分布し、山間の浅くて流れの穏やかな細流に生息する。両種ともに生息環境の悪化によって急速に減少している。そのため、環境省レッドデータブックでは両種共に絶滅危惧 B 類に、兵庫県レッドデータブックではホトケドジョウが A ランクにナガレホトケドジョウが C ランクに選定されている。希少種の保全のためには生態や生活史を把握する必要があるが、特にホトケドジョウの成長についてはほとんどわかっていない。そこで両種の約 1 年間の成長について比較検討した。

調査方法

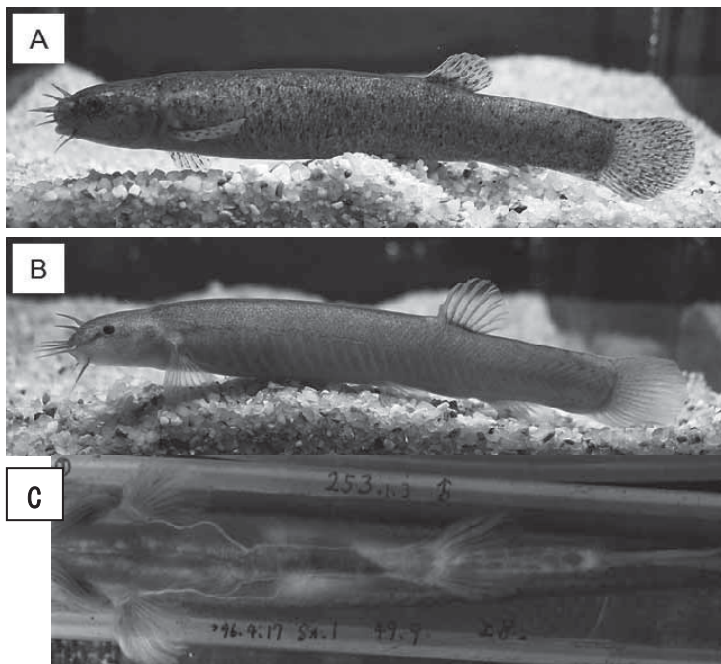
両種ともに腹部に見られる白色線の形状で個体識別できる。1999年11月～2000年12月の間、兵庫県加古川水系のホトケドジョウ、ナガレホトケドジョウそれぞれの生息地で随時採集し、麻酔下で体長測定と個体識別のための腹部の写真撮影を行った。

結果

ホトケドジョウはナガレホトケドジョウより大きな成長を示した。

まとめと考察

両種ともに体長 6～7cm になるが、今回の結果からホトケドジョウの方がより速く成長することが示唆された。一般に寿命の長い種は成長が遅い。このことからホトケドジョウの方がナガレホトケドジョウよりも寿命が短くなると予想され、今後そのことを確認する必要があるとともに、生息環境との関連について検討する必要がある。



A: ホトケドジョウ
B: ナガレホトケドジョウ
C: ナガレホトケドジョウの腹部
(白色線の形状で個体識別できる)